

新年度予算・今年度緊急補正予算の編成と重要な政治行動について市長に要望書提出へ

危険な原発、自然災害、各種感染症など、あらゆる脅威から市民の安全を確実に守るための取組

日本共産党議員団は、来年度予算編成にあたっての要望と、今年度中に緊急課題に関する補正予算を編成する要望などをまとめ、中川市長に対して15日に提出します。

内容は、①国が再稼働を無理やり押し進めようとしている柏崎刈羽原発に関する事、②医師不足への対策の無いまま進められている医療再編と、市が建替え延期を表明したセンター病院に関する事、③異常な物価高から市民の暮らしを守る事の3分野です。それぞれについて具体的要望項目を厳選し、計26項目としました。

- ◇ 花角県知事に対し、3つの検証の総括をあらためて行うとともに、再稼働の是非の判断は県民投票にて行うことを求めること。
- ◇ 柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、すべての原発の廃炉を求めること。国に対して、エネルギー政策の抜本的改革に基づいたエネルギー基本計画の見直しを求めること。
- ◇ 東京電力との間で再稼働等の事前了解権や立ち入り調査権を含む安全協定を締結すること。この点に関して、UPZ圏内の各市町村に積極的に締結を働きかけること。
- ◇ 原子力災害における避難計画については、震災、豪雨、豪雪などとの複合災害に対応し、全ての市民が被曝なしに避難できる計画を整備すること。また、“避難しなくてはならないこと”それ自体が安全な暮らしとは言えないことを真に認識し、避難しなくても良い手立て、つまり原発の即時完全廃棄を、国、県、電力事業者、関係事業者に求めること。
- ◇ 「豪雪はそれ自体が災害」であることを再認識し、積雪が基準に達した場合は即刻災害救助法の適用を求めるとともに、被害の可能性の程度にかかわらず、手厚く柔軟な手助けを行うこと。また、災害救助法が適用された際の除雪支援対象の拡大を国に求めること。
- ◇ あらゆる自然災害に対応した対策の一つとして、市が開設する指定避難所において、市の担当職員全員による実際の開設・運営訓練および検証を毎年行うとともに、検証に基づく改善策を適切に実行すること。
- ◇ ジェンダー平等の視点に立ち、防災部署の女性職員の比率の抜本的改善、女性特有の必要備品の整備、女性や性的少数者の視点での防災訓練の計画・実施などを推進すること。
- ◇ 新型コロナウイルスワクチン・带状疱疹ワクチン(本年4月から定期接種を予定)については、定期接種対象者、任意接種対象者を問わず、無料で接種できるように、国に働きかけること。
- ◇ 各種ワクチン接種による影響調査を行い、被害を訴えた人には市としても適切な支援策を講ずること。

市民の命と健康の守り手である医療機関・施設を確実に守り充実させるための取組

- ◇ 昨年8月30日の上越地域医療構想会議には、現状の平均患者数に基づくなどと称して急性期・高度急性期病床を激減させるとする資料が県から提示されたが、そもそも設備が整っていない上に担当する医師数も極めて少ない状況の中で、潜在的な医療需要に対応できていないという背景を無視した「現状平均患者数」を基にすることは市民を愚弄するものである。しかも、他の医療圏と比べて人口比で極めて少ない病床数とすることは許すことができない。このことを深く認識し、県に対して毅然として撤回を求め、必要病床数とそれに対応する医師・看護師の拡充を強く求めること。
- ◇ 地域医療構想による病院再編を見直し、実質的に中核となっている県立中央病院と厚生連上越総合病院の医師・看護師数を抜本的に増やすとともに最先端の医療設備を導入することで、急性期・高度急性期の潜在的医療需要に応ずることが

- ◇ できるよにすることを国・県に強く求めること。
- ◇ 県立柿崎病院などの地域病院の医師・看護師数を確保・拡充して、慢性期・回復期の医療需要に十分に応えられる医療提供体制を構築するよう、県と国に強く求めること。
- ◇ 慢性期・回復期医療で特に顕著に表れている“実態に合わない診療報酬体系”の抜本的改善を、国に強く求めること。
- ◇ 新潟労災病院の閉院による直江津地域および各鉄道沿線住民に向けた医療提供体制の脆弱化は看過できない。同病院について、継続して診療できるように医師・看護師の派遣などを伴う必要な取組を行うよう設置者に対するあらゆる方法での働きかけを行い、閉院させないようにすること。
- ◇ 上越地域医療センター病院については、改築着手延期の方針を撤回し、今年度中に設計に必要な補正予算を計上して改築に着手すること。

物価高騰と国の悪政から市民を守る取組

- ◇ 諸物価の高騰で市民生活が危機に瀕していることを深く認識し、緊急に補正予算を組んで低所得層および準低所得層(夫婦+子ども2人世帯で年収400万円以下程度)への一時金の支給を市独自に行うこと。
- ◇ 異常な燃料費の高騰に伴い、緊急に補正予算を組んで、従来以上の金額の「灯油納入費助成金」を、前項同様の必要な世帯に給付すること。
- ◇ ガス・上下水道料金をはじめとする市が徴収する公共料金を緊急に引き下げること。
- ◇ 負担の限界を超えている国民健康保険税を、大幅に引き下げること。
- ◇ 介護保険事業特別会計に、必要に応じて一般会計から補填するなどの取組を行い、保険料を大幅に引き下げること。
- ◇ 必要な介護を必要だけ提供できるようにすることが保護保険事業者としての責務であることを深く自覚し、必要なサービス提供に徹すること。
- ◇ 介護スタッフの処遇改善のため、市として独自の助成措置を講ずること。
- ◇ 介護報酬の引き下げ等で経営が危機に瀕している訪問介護事業者の実情をアンケートなどで急ぎ把握し、介護保険特別会計の運営安定基金の活用などで減収分等を補助することで、必要な介護サービス事業を安定的に継続できるようにすること。
- ◇ 国保税滞納者から国保証を取り上げないこと。
- ◇ マイナンバーカードへの保険証機能の登録により、資格確認書が発行されなくなることを市民にわかりやすく周知し、登録解除の受付を積極的に進めること。
- ◇ マイナンバーカード取得によるリスクやカードシステムの持つ危険性について市民にわかりやすく周知するとともに、取得が事実上強制にならないようにすること。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.856 2025年1月12日
連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcp.joetsugiindan.webnode.jp/>

井上さとし
参議院議員
新年の
決意表明



日本被団協のノーベル平和賞受賞の感動の中で迎えた参院選の年。被爆2世として核兵器廃絶を高々と掲げ、比例代表で5期目をめざします。総選挙での審判に反省なき自民党。石破首相は「企業献金が政治をゆがめたことはない」「企業団体献金禁止は憲法違反の疑い」とまで答弁しました。お金で動く政治を終わりにし、国民の暮ら

しと命を守り、能登災害の復興にこそ力を尽くす政治へと変えましょう。初当選以来24年間、政治改革の特別委員会に所属してきた私はその先頭に立ちます。昨年参院で質問回数・時間ともトップで「三ツ星議員」の表彰を受けました。さらに政治を前に進め「憲法と命輝く日本」へ力を尽くします。